

令和元年度 第1回石狩市地場企業等活性化審議会議事録

日時：令和2年3月25日（水） 15：30～16：30

場所：石狩市役所 4階 401会議室

出席者：次のとおり

役職	氏名	出欠	役職	氏名	出欠
会長	北山 隼	○	委員	中井 寿美子	×
副会長	相田 珠美	○	委員	小山 玲子	○
委員	鈴木 圭一	○	委員	浜尾 和美	○
委員	高梨 朝靖	○	委員	小渡 信洋	○
委員	木村 邦博	○	委員	山口 秀俊	○

オブザーバー：石狩商工会議所 経営支援課長 安達 陽子
石狩北商工会 経営指導員 野澤 美朝

石狩市：市長 加藤 龍幸
(事務局)

企画経済部産業振興担当 部長 本間 孝之
商工労働観光課 課長 板谷 英郁
商工労働観光課 主幹 吉田 学
商工労働観光課 主査 渡部 隆弘

1 開会

- (1) 挨拶 石狩市長 加藤 龍幸
- (2) 委員紹介
- (3) 会長及び副会長の選任
会長 北山 隼
副会長 相田 珠美

2 意見交換

- ・新型コロナウイルス感染症に伴う経済状況について

3 その他

4 閉会

議事録

1 開会

(1) 挨拶 石狩市長 加藤 龍幸

本日は、年度末大変お忙しい中、今年度第1回目となる石狩市地場企業等活性化審議会にお集まり頂き、誠にありがとうございます。また、この地場企業等活性化審議会の委員をご承諾いただき重ねてお礼申し上げます。

本審議会は、「地場産材の開発、普及等及び市内における取引関係の強化拡大を促進することにより、地場企業等の活性化を図り、もって市内の産業の高度化及び多様化並びに本市の経済の自立性向上に寄与することを目的」としており、平成29年度に「第4次石狩市地場企業等活性化計画」を策定しております。

このほか、産業に関連する「農業」「漁業」「観光」の計画も策定しており、これまで推進してきた施策に加え、各産業の横軸を意識し、「産業を支える担い手の育成」「石狩ブランドの確立」「物産振興体制の確立」「道の駅を起点とした産業・観光振興」に連携して取り組んでいるところです。

さて、北海道が新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い先月、2月28日から実施してきた緊急事態宣言については、当初の予定どおり3月19日をもって終了としましたが、感染症が世界的な広がりを見せ、WHOがパンデミックと見なされると表明しており、早期に終息するかは見通せない状況であります。

私ども市役所も、2月21日に「石狩市新型コロナウイルス感染症対策本部」を設置し、とにかく市民の皆様への安全・安心の確保に向けて、感染症の拡大防止対策に取り組んでおり、商工事業者の皆様へも、経済団体を通じて、従業員や来客者の皆様への咳エチケットや手洗い等の感染防止対策を行っていただくよう周知徹底をお願いしているところでもあります。引き続き感染症の拡大防止のため、基本的に市内公共施設を3月31日まで臨時休業するなど対策を講じて参りますが、感染症拡大防止に向けての外出自粛ムードが、市内経済に大打撃を与えており、特に飲食業界におきましては、宴会や歓送迎会のかき入れ時と重なる時期に、予約がキャンセルになるなど、非常に経営への影響は計り知れない状況となっております。

年度末のこの忙しい時期に皆様に、第1回目の審議会を開催させていただいたのは、本市経済に深刻な影響が生じており、市内事業所の状況把握、拡大防止への取り組みなど、皆様からご意見をいただき、今後の対策の参考とさせていただきたいと考えております。どうか皆様方の忌憚のないご意見をいただければと思います。

最後になりますが、委員の皆様方には、本市の地場企業の活性化を図るため、ぜひともお力添えを賜りたくお願いし、私からの挨拶に代えさせていただきます。今日はどうぞよろしく申し上げます。

(2) 委員紹介

事務局より、委員紹介

(3) 会長及び副会長の選任

会長 北山 隼

副会長 相田 珠美

2 意見交換

- ・新型コロナウイルス感染症に伴う経済状況について

【北山会長】

経済団体の相談窓口のアドバイザーをしているが、1月末から2月にかけてから、中小企業において目に見えて厳しい状況に置かれていることを肌で感じている。特に新聞などで報道されているが、飲食店関係については、観光客が激減するなど、どうしてもしわ寄せが身近な小売業やサービス業・飲食店に影響を与えており、大変資金繰りに苦慮されている状況。セーフティー金融機関を覗いたところ 15 時頃にも関わらず、15、16 名の方が待っている状況であった。相談時間については一人 30 分ぐらいと考えても、相当な待ち時間になっている。

【相田副会長】

飲食関係の友人の話の聞くと、宴会はすべてキャンセルとなったり、お店を開けるために食材を用意しなければならず、食品ロスにも繋がっており、この状態が長く続くと資金を借りても返さなくては行けないし、終息が見ない状況のなか大変苦慮していると感じている。

【鈴木委員】

食品設備に携わる仕事をしているが、食品会社は大変困っている状況で、売れない、回らないので生産が出来ないと聞いている。食品設備の業界には、直接の影響は及んでいないが、今一番大変なのが飲食店だと思うが、今後、食品製造業、最終的に食品設備会社へ影響が出てくるのではと不安がある。

【高梨委員】

観光協会としては、冬の時期に重なっていることもあり、影響が見えていないのが現状である。本町地区だと、この時期は番屋の湯ぐらいしか来る場所がないので、さほど影響を感じていない。今後影響が出てくるのは、4月の観光シーズンからイベントなどどんな影響が出てくるのか、心配している。20日から道の駅と観光センターがオープンしているが、今まで自粛していたこともあってか、来客が多い。雪解けも早かったのでハマナスの丘公園にも人が来ている。商品については、お店には行かず通販など需要が増えており、観光協会ではふるさとの納税の業務を行っているが、昨年同月と比べると3倍から4倍の申込がある。

【木村委員】

農業については、これから雪が解けて作付けが始まるので、影響はない。もともと一次産業は景気には左右されないとされており、唯一左右されるのは、豊作・不作による価格の変動ぐらい。今後、観光客が減ると食べ物も動かなくなるので、例年どおり農産物が採れたとしても、ダブつく恐れが出てくることによって価格が安くなるなど影響が出るのではと思っている。

とれのさとが3月28日にリニューアルオープンを予定しており、イベント的な賑やかしについては自粛し、混雑状況など見ながら、入場制限を掛けるなど、感染症拡大防止の対応を行う予定である。

【小山委員】

冬季間については、閉めているお店の方が多いが、開けている飲食店では、会合や歓送迎会などの予約のキャンセルがあったと聞いている。これから港朝市が始まるが、朝市自体は屋外なので気にされないのでかもしれませんが、飲食店などによっていただけるのか、不安がある。

建築資材ですが、中国で作っている設備が輸入されず、卸業者より注文を受けないと言われていいる。いつ輸入も再開されるのかわからないので、仕事に影響が出ている。

これから屋外でのイベントも多く開催されるが、出来るのかどうかも不安がある。

【浜尾委員】

JA 業務自体に影響は出ていないが、3月は各団体の総会の時期でもあるので、当管轄だけでも17、18組織ありが、すべて中止としており、農業者の勉強会や懇談会なども中止し、組合員への情報発信が出来ていない状態である。書面により情報発信を行っているが、農業者へは不満があるのではと思っている。総会など中止に伴い懇親会なども中止しているので、飲食店は大変大きな影響が出ているのではと思っている。

【小渡委員】

北洋銀行全体の情報ですが、1月末に相談窓口を設置し、900件の相談を受けている。融資を早期に実行できるよう資料の簡素化や権限の変更を行うなど対応を行っている。

市内の相談は約10件を受け、融資に向けて準備を進めている。その他影響が出ている業種の事業者への声掛けを60件程度しており、このうち10件については今後に向けて話を進めており、残りについて影響は出ていないが、今後に不安を抱えている状況である。融資のある取引事業者を中心に声掛けをしているが、これから更に声掛け先を拡大して行く予定である。

住宅関連ですが、水回り設備については、TOTO、リンナイ、パナソニックの中国の工場で生産している設備はなかなか入ってこない状況と聞いており、住宅のリフォーム業者からの相談や、中国からの資材を運送業者や、食品製造業者からの相談も受け対応している。

【山口委員】

職場の状況では、数年後まで受注を受けているので、影響は出ていないが、新型コロナウイルス感染症の対策として、休業としたかったが、休業後が苦しくなるので、1週間残業をしない取り組みを実施し、その後も、残業時間を週4時間と決めている。職場内もアルコール消毒液を設置するなど対応している。本州からの顧客もいるが、北海道は感染者が多いので来られなくなった。

【野澤オブザーバー】

石狩北商工会の地区内で小規模事業者74件の会員の内、飲食店が15件のうち4件が冬季間休んでおり、宿泊施設6件は開店休業中である。6件の建設業、小売業・サービス業47件である。

現在は地区内の消費だけで回っている状況なので、話を聞いてもそんなに気にされていない感じである。今後、影響が出て融資を受けなければいけない状況になったら、融資を受けずに店を畳むと話されている事業者が何件か出てきている。

厚田地区で医療品を扱っている店があるが、マスクやガーゼ、体温計が一切入荷されない状況である。

【安達オブザーバー】

石狩商工会議所では、3月8日から9日に新型コロナウイルス感染症に伴う事業活動への緊急調査を会員事業所の無差別抽出で92事業所に対し行い、45事業所の回答を得ている。

事業活動への影響の設問に対し、「懸念している」「若干の影響がある」「大きく影響している」に回答いただいたのが86.7%で、高い確率で影響が出ている結果となっている。その中で「影響があった」と回答された方で、売上の減少について聞いたところ、1～10%減が22.2%、11～30%減が11.1%、31～50%減が4.4%、50%以上減が13.3%で、50%減と回答いただいた事業者はすべて飲食店でした。売上以外の影響としましては、「原材料、商品の入荷が困難になった」と回答された方42.2%、「宿泊や宴会などの予約がキャンセルとなった」と回答された方35.5%、「生産現場・販売現場が操業を停止した・予想される」と回答された方20.0%、「原材料・商品が高騰した・なるものと予想される」と回答された方15.5%、「休業に伴い、従業員に対する休業補償が発生した・することが懸念される」と回答された方15.5%となっている。取引先の売上減少に伴う業況の悪化や、中国からの輸入停止に伴うリフォーム・新築物件の工事の遅れなどや、卒業式、入学式等の式典、サービスに対する取引減少の懸念、従業員への感染を懸念など回答がありました。

感染防止対策等について聞いたところ、「手洗い・手消毒の徹底」については、95.5%と回答あり、「マスクの着用」については53.3%の回答でしたが、一方で、「手消毒液が入手できない」31.1%、「マスクが入手できない」44.4%などとなっている。

市内のテイクアウトできる飲食店を、会議所のホームページで紹介しており、フリーペーパーなどにも掲載している。

新型コロナウイルス感染症に伴う主に融資の相談件数は25件を受け、道の融資のあっせんについては1件となっている。

【板谷課長（事務局）】

新型コロナウイルス感染症に伴う国の状況ですが、新型コロナウイルス感染症に関する緊急対応策が出されており、中小企業・小規模事業者への対策としては、資金繰り支援や雇用調整助成金の特例措置などがある。

資金繰り支援の中で、信用保証制度を活用する際には、本市が認定することとなっており、すでに9件の事業者を認定している状況で、問い合わせなども多数いただいているので、今後も増える見込み。

今後もこのような場を設けて、状況を把握したいと考えている。

【北山会長】

新型コロナウイルス感染症については、幅広い産業に大きく影響が出ている。資金が枯渇したらやめなければならない状況になる。融資の相談を受けて感じるのは、いつ終息するかわからない状況なので、融資の返済を据え置くなどして、対応していかなければならないと思っている。

これから観光シーズンを迎えるので、交通量を比べることによって、状況が見えてくるのではないかと。特に平日と土日とを比べることによって、流動人口が見えてくるので、検討してみてもどうかと思っている。

大変厳しい状況ですが、本日皆様からいただいた意見を参考にさせていただき、いろいろと手を打っていただければと思っている。

【加藤市長】

本市として昨日第1回定例議会が終えているが、最終日に当初予算と補正予算を通していただき、新型コロナウイルス感染症関連では、備蓄用のマスクをすべて吐き出しているの、新たに7万枚の購入や消毒液の購入など認めていただいた。

国では、資金繰りの関係では第2弾までは公表されていますが、新年度おそらく4月中には大規模なこれまでに例のない補正予算を行うと聞いている。

本市としては、当然のことながら市民や企業の皆様方を何とか支えたいと思っているので、補正予算についてすぐさま対応させていただく。

本日、審議会で承ったご意見を含めながら、今後、私どもの対策をしっかりと進めて行くので、今後とも皆様方のご支援ご協力をよろしくお願いする。

3 その他 特になし

4 閉会

令和 2年 5月 8日 議事録確定

石狩市地場企業等活性化審議会

会 長 北 山

